

第 163 回 BA エグゼクティブサロン概要 (9/21)

テーマ 1 : 映像コンテンツ制作における脱炭素 : 欧米の取り組み

講演者 : 丸田 智子 氏 (まるだ ともこ)
NHK エンタープライズ ライツアーカイブセンター 副センター長

卓話概要 :

映像コンテンツ制作において「サステナビリティに資するメッセージを盛り込むこと」および「自らの制作過程で環境負荷の削減に取り組むこと」を両輪で進めるという考え方は、欧州を中心に始まり、世界で急速に広がりつつある。

英国 BBC は 2030 年にネットゼロになることを宣言している。グローバル OTT の Netflix は 2022 年にネットゼロを達成し、世界中の発注先に対しコンテンツ制作過程での CO2 排出量の報告を求め始めた。

脱炭素の実現は、多様なステークホルダーおよび同業社間の協力なくしては実現しない。業界横断のエコシステム変革をどのように進めているのか、英国および米国の事例を中心に見ていきたい。



略歴 : 丸田 智子 氏

1991 年ロンドン大学シティ校修士課程修了 (世界の通信放送政策)、国際メディア・コーポレーション (2010 年 NHK エンタープライズと合併) に入社。

テレビ番組の海外販売、海外コンテンツの権利購入、国内の権利ライセンス、事業展開およびイベントプロデュースなどに従事。

テーマ 2 : 1.5°C の約束キャンペーンにおける脱炭素の番組づくり

講演者 : 堅達 京子 氏 (げんだつ きょうこ)
NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

卓話概要 :

NHK と民放キー局 5 局は、国連 SDG メディアコンパクトの「1.5°C の約束」キャンペーンに参加し、6 局連動で気候危機を食い止めるための番組作りを進めている。この中で、BBC が開発した BAFTA のアルバートのカリキュレーターを使って CO2 排出量を試算する取り組みを続けるとともに、メディア自身の CO2 削減の可能性についても勉強会を開くなど模索を続けている。その現状と今後の課題について、制作現場の実感を交えて伝える。



略歴 : 堅達 京子 氏

早稲田大学卒業後、1988 年 NHK に入局。報道番組のディレクターとして N スペやクロ現を制作。

2006 年からプロデューサー。環境キャンペーンの責任者を務め、数多くの気候変動・脱炭素のドキュメンタリーを制作。

2021 年 NHK エンタープライズに転籍。環境関連の審議会委員を歴任。日本環境ジャーナリストの会副会長。